

武蔵野美術大学(学部入学定員:1,050人)

[取組学部: 造形学部(4062人)]

### 【構想の目的・育成するグローバル人材像】

美術・デザインにおける高度な専門技術と知識を活用できる様々な能力を身につけ、なおかつ、海外においてもそれらをいかんなく発揮するために必要かつ十分な外国語力を身につけた人材を育成することを目標とする。

### 【構想の概要】

「教育課程の改革」「学内諸制度の整備」「人的資源・組織の国際化」を通じ、学生に対する様々なグローバル人材育成アクションを実施することにより、他美大を牽引するグローバル教育力を獲得し、美術教育のあり方を地球社会へ発信する。

## ■ 教育課程の国際通用性の向上

### ○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

美術とデザイン領域の専門授業を行うにあたりグローバル志向を目指す教授法を確立し、また国際的コミュニケーション能力の獲得、世界を舞台にした美術・デザインの発信による新たな価値創造の推進を目指す。

### ○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

美術・デザイン教育の側面から再整備し、広く社会へその有用性を提言するために情報発信を多言語で実施するだけでなく、可視情報の制作にも力点を置く。

### ○ 事務体制のグローバル化

適正な人員配置と異動によるスキルアップの一環に語学能力の必要性を明確に位置づけ、研修などの諸制度充実を図り、教育環境のグローバル化へ対応する。



〈フィンランドでの国際交流プロジェクト〉

## ■ グローバル人材として求められる能力の育成



〈訪問教授による作品指導〉

### ○ 既存制度枠の拡大と推進

学生のグローバル人材能力を引き出すため、既存の教育的施策で評価の高い取組を元に、更なる質・量の拡大を図る。

### ○ カリキュラム改革による国際化の推進

美術・デザインの専門分野においてグローバル教育が有効に働くよう、美術大学でのみ実現可能な国際科目や海外短期講座などの設置を行う。

### ○ 海外留学を促進する制度の拡充

海外協定校、関係強化校の拡充を行い、学生の海外での授業や作品出展機会を増やす制度を整備する。また海外経験のある卒業生による公開ディスカッションを行うなど、海外留学をより身近なものとするイベントを企画する。

## ■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

### ○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

達成目標として掲げる「外国語力スタンダード」と「海外留学経験」について、入学以前の中等教育段階までに修得できている者への適切な評価を段階的に制度化する。

### ○ 効果的な語学教育及び教育体制

美術・デザイン分野を専門とする学生に対する語学教育であるという側面から、制作に関するプレゼンテーションやディベートの授業方法においても特色を出す試みを実施する。

## ■ 教員のグローバル教育力の向上

### ○ 教育体制のグローバル化

教員の在外研究制度や海外研修制度の採択件数を増やし、世界を見据えた教育活動を充実させ、本学教育の国際通用性を広く世界へ発信する。また国際機関のカンファレンス参加などにより国際ネットワークの一層の強化を図る。

### ○ グローバル教育力向上のための取組

訪問教授によるFD活動や、海外の高等教育機関での教育活動参加など新たな美術・デザイン分野を創出する活動を通じ、専任・非常勤を問わず語学能力を含めた各種グローバル教育力向上の施策を行う。

## ■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

### ○ 動機付けや留学を促進するための取組

グローバル人材を目指すための動機付けが最重要課題であると考え、学生に対し入学時から様々なフェーズで情報発信・留学活動支援を行う。

### ○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

帰国後の卒業制作や就職活動において、学生に不利が生じないよう、留学中から緻密に連絡を取り合える体制を整え、留学中の学修に集中できる環境をつくる。

**卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力**

本構想では、「日本の美術・デザインを自らの言葉で海外に向け発信出来る人材」が修得すべき具体的能力を獲得可能な環境を作り、修学・体験の機会を倍加する。能力は次の15項目とする。1.外国語プレゼンテーション能力 2.バイリンガルでポートフォリオを作成する能力 3.海外の展覧会やコンペティションに独力で参加できる能力 4.海外の美術・デザイン専門大学の学部レベルで就学可能な外国語力 5.海外の美術・デザイン専門大学の大学院レベルで就学可能な外国語力 6.第二外国語 7.「1対1」、「1対多数」、「多数対多数」など、様々な場面におけるコミュニケーション能力 8.美術・デザインの専門用語を用いず作品やアイデアを説明できる能力 9.美術・デザインを発信するためのコンピューター・リテラシー 10.独立自主の精神で自分を主張するとともに客観視できる能力 11.問題解決能力 12.挫折しない心など様々な能力 13.自己のアイデンティティーの確立 14.日本文化について幅広く発信出来る知識と経験 15.日本語によるディベート能力

**本構想において実現する達成目標**

全 学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語カスタンダードを満たす学生数				30人	40人	50人	55人
うち海外留学未経験者数 (A)				24人	32人	40人	44人
海外留学経験者数 (B)		4人	6人	10人	25人	45人	75人
卒業[予定]者数 (C)		1050人	1050人	1050人	1050人	1050人	1050人
比率 ((A+B)/C)				3.2%	5.4%	8.1%	11.3%
造形学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL iBT 80		30人(24)	40人(32)	50人(40)	55人(44)
	海外留学経験者数	4人	6人	10人	25人	45人	75人
	3カ月未満	0人	0人	2人	15人	33人	55人
	3カ月～1年	4人	6人	8人	10人	12人	20人
	1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数		1050人	1050人	1050人	1050人	1050人	1050人

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の( )内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。